

## 第9節 渡良瀬遊水地課

### 〔総括概要〕

渡良瀬遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、普及・啓発、環境保全・利活用、藤岡遊水池会館及び渡良瀬遊水地ハートランド城に関することである。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会など庁外の各種会議に参加し、他自治体などと連携、調整を行った。

渡良瀬遊水地の普及・啓発については、ラムサール条約登録記念日を中心としたPR活動の実施、公式ツイッター等を活用し、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に親しみを持っていただけるような事業を行った。

環境保全については、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査として、植物の現地調査を行った。また、希少植物保全のための外来植物除去活動やヨシ・オギを主体とする湿地環境保全のためのヨシ焼きを実施した。このほか、周辺に飛来するコウノトリの定着をめざすため、生息地環境の整備を行った。

利活用については、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成として渡良瀬遊水地ガイドクラブの支援やカヌースタッフ養成講座を行ったほか、環境学習やスポーツなど渡良瀬遊水地を活用したイベントを新型コロナウイルス感染対策に配慮しながら実施した。また、渡良瀬遊水地の様々な資源や環境の保全に取り組む“守り人”として行動し、未来につなげる活動を推進するため、会員組織のファンクラブである渡良瀬ナイツクラブの運営を行った。

### 企画調整係

#### 1 渡良瀬遊水地に係る企画・調整

##### (1) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

国内のラムサール条約湿地関係市町村で組織する「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において、会長市として主管者会議及び学習・交流会を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため主管者会議を書面にて開催し、学習・交流会はオンライン開催とした。

##### (2) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会代表、治水団体、利用する団体、環境保全等を行う団体など46団体で構成する「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」において、各団体との情報共有・意見交換を行った。

また、協議会の下部組織である部会では、栃木市が部会長となっている「賢明な利活用及び地域振興検討合同部会」において、ラムサール条約湿地登録10周年に向けて、渡良瀬遊水地の将来ビジョン等をテーマとして、具体的な取組の検討を行った。また、合同部会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料の送付による書

面開催とした。

#### 第9回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面にて開催

#### (3) 地域おこし協力隊活動事業

地域おこし協力隊員を1名委嘱し、渡良瀬遊水地の様々な役割と魅力を貴重な地域資源と捉え、各種団体・企業・地域住民と連携して、新たな魅力や地域資源の発掘や交流人口の拡大につながるよう下記のプロジェクト等の企画・運営を行った。

- ・渡良瀬遊水地のヨシを活用した商品開発等
- ・三県境と渡良瀬遊水地をつなぐ情報発信
- ・三県境おもてなしプロジェクト
- ・絶滅危惧植物保全プロジェクト

## 2 藤岡遊水池会館管理

### (1) 施設管理

建物、駐車場及び施設内設備・物品の維持管理を行った。また、市民交流の場として、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が運営する渡良瀬遊水地湿地資料館と連携して情報発信に努めた。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛要請を行った期間があった。

### (2) 施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に事務室として貸し付けている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
208	3,161	124,705

## 環境保全ワイズユース係

### 1 渡良瀬遊水地の環境保全

#### (1) 渡良瀬遊水地クリーン作戦

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### (2) 希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を保全する必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、希少植物保全のための外来植物等除去活動の参加者を募り実施した。

実施日	場所	人数	保全植物
4月28日(水)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	10人	ノジトラノオ
5月15日(土)	渡良瀬遊水地 第1調節池内	54人	アゼオトギリ他
6月26日(土)	渡良瀬遊水地 第2調節池内	100人	タコノアシ他
6月29日(火) ※雨天中止	渡良瀬遊水地 第1調節池内	—	ノジトラノオ

10月2日（土）	渡良瀬遊水地 第2調節池内	60人	タコノアシ他
10月16日（土）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	64人	アゼオトギリ他

(3) 渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

渡良瀬遊水地は国指定の絶滅危惧種を含む希少植物が多く生育する豊かな自然環境にあるが、その生育環境が悪化している場所も見受けられる。そこで、ラムサール条約湿地登録後の生態系調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供するため、生育の状況や環境についての必要な調査をし、生育位置図などの資料を作成する業務を委託により実施した。

(4) 環境学習池の維持管理

谷中湖北側の史跡保全ゾーンに本市が占有している環境学習池(ハート池)があり、池内は約20種類の絶滅危惧種植物が生育している特異な場所であるため、雑草の定期的な刈り取りや、池周囲に繁茂する桑の伐根作業を行い良好な生育環境の保全を行った。

(5) ヨシ焼き

貴重な湿地環境の保全、害虫の駆除、樹林化の防止等を目的に、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもとヨシ焼きを実施した。実施結果は下記のとおり。

日時	3月5日(土)8時30分開始 21時05分終了
主催	渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会
実施区域	渡良瀬遊水地全域
関係者等	○総数：742人 ・古河市、栃木市、小山市、野木町、板倉町、加須市、利根川上流河川事務所、渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、各消防署、各警察署 約200人 ・渡良瀬遊水地利用組合連合会及び関係自治会 約292人 ・地元消防団 約250人
概要	○焼却面積：約1,300ha(予定区域約1,500haの約9割) ○見学者数=2,000人 ※新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、事前に見学の自粛を呼びかけた(HP、自動音声案内、新聞等)

(6) コウノトリ生息地環境整備

国の特別天然記念物に指定されているコウノトリの野生復帰及び定着を図るため、渡良瀬遊水地内に人工巣塔を2か所設置した。

また、ふるさと納税、クラウドファンディングを活用して財源を確保した。

	寄附金件数(件)	寄附金額(円)
ふるさと納税	1,156	26,173,000
クラウドファンディング	23	577,000

2 渡良瀬遊水地の利活用

(1) 環境学習

ア 夏のわくわく大作戦

実施日	場所	参加人数	内容
6月5日（土）	史跡保全ゾーン及び谷中湖	19人	・希少種探しゲーム・観察 ・カヌー体験 ・サイクリング

イ 親子カヌー教室

実施予定日	会場	申込者数	内容
7月31日（土）	谷中湖	29人	カヌー体験

ウ 谷中湖カヌー教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

実施予定日	会場	申込者数	内容
9月5日（土）	谷中湖	—	カヌー体験

エ チュウヒのねぐら入り観察会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

実施予定日	会場	申込者数	内容
1月22日（土）	ハートランド城～第1調節池内ヨシ原	—	チュウヒの生態についての説明及びねぐら入りの観察

(2) 渡良瀬遊水地フェスティバル2021

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 春のサイクリングぐるり旅

- ・実施日 4月18日（日）
- ・会場 渡良瀬遊水地内第1調節池～第3調節池
- ・参加者 21人

(4) 秋の谷中湖一周サイクリング

- ・実施日 10月30日（土）
- ・会場 渡良瀬遊水地内谷中湖周辺及び三県境
- ・参加者 15人

(5) わたらせ熱気球day

渡良瀬遊水地のPR及び安全かつ気軽に熱気球を楽しむ機会を提供するため、渡良瀬運動公園にて毎月第3日曜日に熱気球係留飛行体験を実施した。

実施日	参加組数	参加人数	備考
4月18日（日）	—	—	荒天のため中止 申込：45組119名
5月5日（月・祝）	29組	97人	特別日として、体験料を減額し実施
5月16日（日）	16組	60人	強風のため中断 申込：37組109名
6月20日（日）	4組	13人	強風のため中断 申込：37組108名

7月18日(日)	51組	145人	
8月15日(日)	—	—	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
9月19日(日)	—	—	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
10月17日(日)	—	—	雨天のため中止
11月21日(日)	65組	186人	
12月19日(日)	103組	225人	
1月16日(日)	42組	118人	新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小し実施
2月20日(日)	—	—	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
3月20日(日)	—	—	荒天のため中止

## ハートランド城係

### 1 渡良瀬遊水地の普及・啓発

#### (1) ラムサール条約登録記念日、PR強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日をラムサール条約登録記念日、7月をPR強化月間として、各種PR活動を行った。

ア 栃木市役所 本庁舎への懸垂幕の掲示

・掲示期間 6月21日～7月31日

イ 栃木市内公共施設へののぼり旗の掲示

・掲示期間 6月21日～7月31日

#### (2) 渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

渡良瀬遊水地課公式ツイッターとインスタグラムで、ハートランドキャラクターが渡良瀬遊水地の「今」の情報を発信した。また、当初よりキャラクター制作に関わっている栃木女子高等学校美術部の生徒と協議し、新キャラクターを制作した。

#### (3) 渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみによるPR活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント自体への参加は限られたが、平成26年度に制作した<sup>ハーツ</sup>Hearts姫、<sup>わたらせ</sup>Watarase712の2つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント等に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのPR活動を行った。

#### (4) 「渡良瀬ナイトクラブ」の運営

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地

をより良く活用するために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを運営した。

- ・会員数 一般会員 150人  
特別会員 6人  
サポート店 2店

- ・ナイトクラブ通信発送回数 2回

(5) 小山市との連携によるヨシ灯り展の開催

小山市との連携事業として、両市が渡良瀬遊水地に自生するヨシを活用した「ヨシ灯り」を作成し、ライトアップを行った。共催2年目となった令和3年度は、初めて栃木市会場で開催した。同日、会場では渡良瀬遊水地パッケージのドリップコーヒーのお披露目も行った。

- ・実施日 10月23日（土）、24日（日）
- ・会場 藤岡渡良瀬遊水地運動公園
- ・来場者数 1,000人

(6) クリスマス企画ヨシ灯り展

- ・実施日 12月24日（金）～26日（日）
- ・会場 蔵の街市民ギャラリー
- ・来場者数 350人

(7) 渡良瀬遊水地キャラクターアニメーション制作

藤岡地域会議提案事業として、渡良瀬遊水地キャラクターによる渡良瀬遊水地のPR動画を制作した。「ハートランドへようこそ！編」「自然がいっぱい！ハートランド編」「自然であそぼう！ハートランド編」の3本の動画を制作した。制作にあたっては、栃木女子高校美術部の生徒とワークショップを行い、キャラクターの選定やイメージ作りなどを行った。

## 2 人材育成

(1) カヌースタッフ養成講座

渡良瀬遊水地で楽しまれるカヌーの楽しさを広めるため、体験者へのサポートをするスタッフを養成した。

- ・実施日 5月3日（月・祝）、6～11月の日曜日
- ・内容 カヌー操作の基礎、安全講習、レスキュー講座、川下り
- ・会場 谷中湖周辺、藤岡小学校プール、渡良瀬川、他
- ・参加者 7人
- ・回数 7回

(2) 渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動におけるスケジュール調整や組織運営の支援を行った。また、ガイド申込書の受付業務も行った。

- ・ガイド案内実績

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動休止期間あり。

	谷中湖周辺	ハートランド城	合 計
日数（日）	81	35	116
利用者数（人）	1,139	732	1,871

(3) ヨシ細工指導スタッフの活動支援

養成講座修了者の活用を図り、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントに限りがあった中でも感染症対策を実施した上で可能な限り参加した。

・ヨシ細工指導スタッフ活動実績

	参加イベント数	体験申込数	合 計
件数（件）	2	3	5
参加者数（人）	20	27	47

3 ハートランド城管理

(1) 施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物、駐車場及び施設内設備・物品の維持管理を行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館等の利用制限を行った期間があった。

(2) 施設の貸館状況

研修室の貸館を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
9	149	5,100